教育目標　自ら学び考え、向上しようとする人

三中だより

令和３年２月１７日
２月号
調布市立第三中学校
chofu3@chofu-schools.jp

「Chromebook」

校長　大瀬　義一

緊急事態宣言が延長される中、調布市内全校で生徒一人一台の Chromebook（ノート PC）を貸与しています。いろいろな機能があり、教員もまだまだ研修中ですが少しずつ有効な利用法を試しているところです。

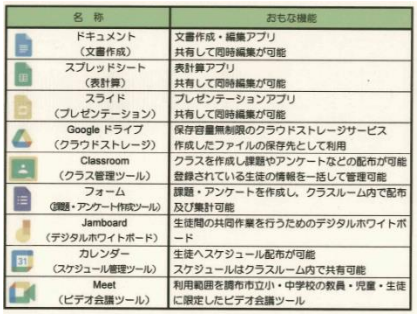
Chromebook は Windows と違い、Android のスマホに近い操作感です。市内全体でセキュリティやフィルタリングはされた状態で配布していますが、子供は大人よりこういうものについては詳しいものです。フィルタリングの網目を見つけてつながるサイトを探したりするのはお手の物です。したがって、保護者の皆さんの中には子供たちの使い方に心配されている方もいるのではないかと思っています。市としてもまだまだ課題のあることは承知の上でのＧＩＧＡスクール構想の中核として一人一台の配布に踏み切っています。ＩＣＴを使いこなせる人を育てていかなければならないのも時代の流れというものです。そこで、ネットモラルも含めて、子供たち自身が課題を感じ、自ら規律を作っていくことも大切なことと考えています。第三中学校では、そのような考えに基づき今は、比較的自由に使わせています。（市の規制の範囲で）例えば、classroom にＬＩＮＥのようなコメントをクラスで共有する機能があります。放課後家でも書き込めます。実際それは学校と関係ないよなという個人の書き込みも見られます。しかし、大切なのはここで、例えば第１学年の学級委員からは、この書き込みは学習に関係ないから不適切なのではないかという声が子供から上がってきていることです。学校としては、子供自身の中での必要性やルール作りをする中で、有効な利用を模索していくことに意義を感じています。もちろん、classroom は教員しか立ち上げることができませんから、子供たちの書き込みはすべて見ることができます。（先生が見ていることを忘れてしまっている子もいるような気もしますが）知っているうえで、それを指導の機会として子供たちに迫っていきたいと考えています。

教員の側も研修を進め、より有効な活用を図っていきたいと考えています。例えば、すでに授業内容の振り返りに classroom のコメント機能を使ってみると、子供たちの気づきが素直に表れ有効な復習のツールとなっています。授業内だけでなく家で勉強していて、疑問や気づきを授業の classroom に書き込むことができるのです。ほかにも、課題を出したり、提出したり、アンケートを取ったり。保護者の皆さんにも meet を使った面談や保護者会など可能性はたくさんあります。また、不登校やケガで長期に学校を休んでいる生徒に対するフォローも可能ですし、希望があれば授業の生配信も可能です。保護者の皆様もお気づきの点がございましたら、遠慮なく学校にお問い合わせください。大人が怖がって使わせないのではなく、使わせながら課題を修正しながら有効活用するために、保護者の皆様も是非ご協力ください。

教育目標　自他をおもいやる、心豊かな人

○Chromebook を使ってできること

Chromebook を使ってできることはたくさんありますが、調布市では主に、下記２つのクラウドサービスを軸に学習を行います。



名　称	おもな機能
ドキュメント（文書作成）	文書作成・編集アプリ 共有して同時編集が可能
スプレッドシート（表計算）	表計算アプリ 共有して同時編集が可能
スライド（プレゼンテーション）	プレゼンテーションアプリ 共有して同時編集が可能
Google ドライブ（クラウドストレージ）	保存容量無制限のクラウドストレージサービス 作成したファイルの保存先として利用
Classroom（クラス管理ツール）	クラスを作成し課題やアンケートなどの配布が可能 登録されている生徒の情報を一括して管理可能
フォーム（課題・アンケート作成ツール）	課題・アンケートを作成し、クラスルーム内で配布及び集計可能
Jamboard（デジタルホワイトボード）	生徒間の共同作業を行うためのデジタルホワイトボード
カレンダー（スケジュール管理ツール）	生徒へスケジュール配布が可能 スケジュールはクラスルーム内で共有可能
Meet（ビデオ会議ツール）	利用範囲を調布市立小・中学校の教員・児童・生徒に限定したビデオ会議ツール

①G Suite for Education

Google が提供する学校教育用クラウド型ツール、生徒に資料の提供、課題の提出、小テスト、文書作成、表計算、調べ学習、プレゼンテーション資料の作成などが可能です。

②ミライシード

ベネッセコーポレーションが提供する個別学習、一斉学習、共同学習ツール。個別学習ソフトドリルパークを使えば、家庭での復習等も可能です。

○Chromebook を使った現在の取り組み

・3 年生の総合学習「未来に向かって」では、一人一人がテーマを決め、Chromebook を使ってテーマについて調べ、Google スライドや Google ドキュメントで発表原稿と資料を作成し発表する活動を行っています。

・2 年生は、総合の時間で Chromebook を使って「上級学校調べ」を行い、Google ドキュメントで内容をまとめています。課題の配布や提出は Classroom を使って行います。

・1 年生は、どのような使い方ができるか自由に試用した後、クラスで Chromebook の正しい使い方について話し合い、共通理解を図っているところです。現在、総合の時間で「推し事プロジェクト」という自分の好きなヒト・モノについて自由にまとめるという活動を行っています。

・8 組では、学活や総合、各教科の授業で Classroom を使ってそれぞれの意見を投稿し、全体で共有する活動を行っています。普段は中々発言できない生徒も Chromebook を使うことで自分の意見を主張することができるようになりました。

・地理の授業では、SDGs について、それぞれが調べ、Google スライドにまとめる調べ学習を行っています。この課題は教師が classroom で生徒に指示を出し、Classroom を使って提出を行っています。このように各教科においても積極的に Chromebook を使う授業が増えてきました。

○Chromebook を使った今後の取り組み

・G Suite for Education やミライシードを活用することで、生徒の思考を止めず、一人一人の考えやアイディアを引き出し表現させる授業。生徒が共同的に学習し、主体的に学ぶことができる授業を展開できると考えています。今後も様々な事のチャレンジし、試行錯誤しながら取り組んで行きたいと考えています。

教育目標　心身を鍛え、たくましく生きる人